

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。第272日 - 273日

英語版はソフィア・オリニクさんとマリヤナ・ザヴィシカさんによって作成されました。

**外交政策** ゼレンスキーは、NATO議会の年次総会で演説しました。演説の中で、ゼレンスキーはG20で先に発表されたウクライナの平和公式を思い出させました。この公式は、核の安全から領土保全の回復まで、ウクライナに対するロシアの侵略の犯罪に対する法廷から環境犯罪への対抗までをカバーしています。各国に対し、平和公式の実施に参加するよう呼びかけました。さらに、ゼレンスキーは、リトアニア、ラトビア、エストニア、ポーランド、チェコ共和国の議会が行ったように、ロシアをテロ支援国家に指定するよう各国に呼びかけました。また、彼は、ロシアのエネルギー資源の輸出価格を制限した直後に、欧州連合の第9の制裁パッケージと、ロシアに対する新しい世界制裁を導入するよう求めました。会議の後、NATO PAIは、すべての同盟国に対し、ロシア連邦とその現政権をテロ組織として明確に特定するよう求める決議を採択しました。

欧州議会議員は、ワーグナーグループをテロ組織に指定するよう欧州理事会に書簡を提出しました。議員は、ワーグナーグループが、テロ防止用の特別措置の適用に関する共通の安全保障と外交政策 (CSFP) の枠内に定める人物とグループのリストに含まれるべきであると考えています。

**経済安全保障** ウクライナは、欧州連合から25億ユーロのマクロ金融支援を受けています。このプログラムの下での資金調達総額の第2トランシェは50億ユーロです。2月24日から今日までにEUによってウクライナに提供されたマクロ金融支援の総額は67億ユーロに達するとウクライナのマルチェンコ・セルギー財務大臣は述べています。

ウクライナは、世界銀行から6,000万米ドルの融資を受けました。これらの資金のうち、5,000万米ドルは国際開発協会から優遇条件で提供され、残りの1,000万米ドルはラトビアからの保証だったとウクライナ閣僚会議が通知されました。この資金は、国家レベルおよび地域レベルの両方で、教育分野の国家機関および予算機関の従業員に給与を支払うために行われた国家予算支出の払い戻しに使用されます。

ウクライナは、フランス開発庁から最大1億ユーロを借入れます。ローンは年利1.04%の条件で提供され、ローンの最終的な返済は、ローン契約日から15年後となります (貸付契約日から5.5年のローンの繰り延べ返済の猶予期間を考慮に入れます)。

カナダ人は、100ドル単位でウクライナ国債を購入できるようになりました。これらの債券により、カナダ人はウクライナに直接支援を提供できるようになり、ウクライナ政府はこの冬、年金、燃料の購入、エネルギーインフラの復旧などの不可欠なサービスを提供し続けることができます。

**攻撃を受けている都** ウクライナ大統領府は11月22日の時点で、1886の入植地はロシアの占領者から解放されたと報告しました。しかし、約2000の入植地が依然として占領下のままです。

ロシアは、ザポリージャ州のオリヒウにある人道援助センターを攻撃しました。砲撃の結果1人のボランティアが死亡し、女性2人が負傷しました。ロシアの砲撃の結果、ザポリージャ州のヴィルニャンスクにある産院が被害を受け、産子が負傷して死亡しました。がれきの中から医師と患者が救出されました。ヘルソン州では、ロシア軍は解放されたヘルソンの民間インフラを定期的に砲撃しています。月曜日、砲撃の結果7人が負傷し、3人が死亡しました。ドネツク州では、ロシア軍がドネツクとチャンブ・ヤールを砲撃しています。チャンブ・ヤールでは2人が負傷し、4の家屋が被害を受けました。ドネツクでは高層ビルが直撃し、倉庫も被害を受けました。

**人権** ウクライナは、国中に特別な「無敵のポイント」を立ち上げています。現在、電気、暖房、水、インターネット、携帯電話接続、薬局を無料で24時間体制で提供するために、4000の「無敵のポイント」を設置されています。人々は、学校のような公共施設でポイントにアクセスできます。

ザポリージャ州政府によれば、2022年11月21日時点で、全面戦争が始まって以来、559人のザポリージャ州の住民がロシア軍に人質にされています。そのうち340人が解放されましたが、219人がまだ人質に拘束されています。現在、13人の未成年者が人質に拘束され、そのうち7人は返還されています。さらに、地方自治体の3人の代表者が拘束されたままです。41人の起業家がロシア軍に人質にされ、27人が解放されました。

ウクライナは33人の戦死した兵士の遺体を返還しました。

**戦争犯罪の訴追** スペインのサンチェス首相によると、スペイン警察は今後数週間にわたって、戦争犯罪の疑いのある捜査を支援するためにウクライナに配備されます。スペイン内務省によると、スペイン警察当局の事前代表団がすでにキエフに到着し、ウクライナ検察庁の代表者と面会しました。ウクライナとスペインのカウンターパートは、2月にロシアがウクライナに侵攻した後の国際法違反の疑いを調査する事件に組み込まれる可能性のある証拠の収集に取り組む予定であると、ロイターは報告しています。

**健康の安全保障** WHO は、戦争が始まって以来、ウクライナの医療インフラへの703件の攻撃を確認しました。国際人道法と戦争のルールに違反になっています。

**エネルギー安全保障** ウクルエネルギーのCEOのクディリツィキー氏は、ロシアのミサイル攻撃により、ウクライナには完全な火力発電所

と水力発電所が文字通り残っていないと報告しました。一部の発電所は、ミサイルによって数回攻撃されました。全体的に被害の規模は巨大です。

[アシャー](#)の最近の調査結果によると、この危機によって明らかになった、より大きなエネルギー安全保障を確保する必要性が高まっていることは、減速ではなく、より迅速なエネルギー移行につながる可能性が高いと言いました。合計96%の回答者が、サプライチェーンの問題や、エネルギーまたは商品価格の変動が主な問題であり、組織がある程度の影響を受けたことを認めています。1999年にグループ20(G20)諸国で調査された上級管理職の75%以上が、ウクライナ紛争が自国のエネルギー移行を加速すると予想し、12%が移行を遅らせると予想しました。

デジタルセキュリティ。デジタルトランスフォーメーション省と[オーストリア共和国](#)の連邦財務省は、デジタル化の分野で覚書に署名しました。カウンターパートは、デジタルトランスフォーメーションの分野における各国間の協力と、高速インターネットアクセス、電子政府、およびデジタルスタートアップの分野における経験の共有について議論しました。オーストリアは、解放された地域にとって特に重要な発電機のバッチを含むサーバーとデジタルインフラストラクチャをサポートするために、近い将来に支援を提供する用意があることを表明しました。

文化 ウクライナ文化大臣によれば、占領者はウクライナで約800の文化財を[完全に破壊または損傷](#)しました。

今後のイベント

- [War and Diplomacy During Winter: Updates from Ukraine](#)

ここで登録ください: <https://forms.gle/FXhgdNXXWvz3Ta3g7>

読書コーナー

- [Don't Negotiate With Russia | The Atlantic](#)
- [Ukraine's Kherson Win Shifts Dynamics Across Whole Front With Russia | WSJ](#)

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年11月23日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約 85,410人、戦車 2897台、装甲戦闘車両(APV) 5,832台、砲兵システム 1878台、多連装ロケットシステム(MLR) 395台、対空戦システム 209台、固定翼航空機 278台、ヘリコプター 261台、軽装甲車 4,396台、ボートおよび軽装ボート 16台、運用戦術レベルUAV 1537台、特殊装備 161台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 480台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- 戦争中の性的暴力の被害者を支援するNGO「[Sylni](#)」(日本語で「強い」)を支援してください。
- [ボランティア翻訳者](#)としてSharetheTruthsプロジェクトを支援してください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！